

令和2年1月31日



2月 釜小だよ

横浜市立釜利谷小学校

釜小Web <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariya/>

人と学ぶ 人に学ぶ

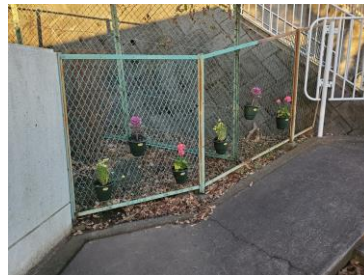
副校長 鈴木 勝之

もうすぐ節分、立春です。暦の上では春が近づき、進級や卒業を本格的に意識する時期になりました。釜利谷小学校の子どもたちも、新年度に向けて、学年や一人一人の目標に合った成長を遂げています。先日の4年社会科見学では、子どもたちが以前よりもさらに成長している姿を見ることができました。乗車マナーを例にすると、他の乗客から褒められるほどの成長ぶりでした。

子どもたちは、人・物事とのかかわりの中で成長します。その中でも、人とのかかわりの重要性は近年、特に注目されています。学校には様々な人が集まります。友達、職員、時には外部から講師を迎え、そのかかわりの中で日々の学習が成り立っています。そして釜利谷小学校は、多くの保護者・地域の方々にボランティアというかたちで協力していただいています。

<釜利谷小のボランティア>

- ・小さな音楽会
- ・図書館ボランティア
- ・花いっぱいボランティア
- ・郷土資料館ボランティア
- ・釜利谷ほほえみ学援隊
- ・放課後学習ボランティア「かましょう寺子屋」
- ・読み聞かせクラブ



裏門付近の鉢植えの花



郷土資料館前の歴史資料

釜利谷小学校は、学校・地域コーディネーターにとりまとめているボランティア、PTA関係のクラブ、係活動など、多くの保護者・地域の方々とかかわる機会に恵まれており、学習だけでなく、安全・安心、情操教育といった様々な分野、側面において支えられています。このようなかかわりを通して、子どもたちは、考え方や生き方そのものにもふれ、多くを学んでいくのではないのでしょうか。人と学び、人に学ぶことが、よりよく成長していくことにつながるといえるのではないのでしょうか。

ボランティアとして登録してくださっている方々以外にも、多くの人と学び、多くの人に学ぶ機会があるところが釜利谷小学校のよさであると考えます。それぞれのかかわりの中で、感謝の気持ちを表す場面はあると思いますが、年度の締めくくりであるこの時期に、改めて感謝の意を表す会を設けたいと思います。子どもたちには、この会を通して感謝の気持ちをもちつつ、人と学び、人に学び、成長した自分の姿を振り返る機会にしてほしいと思います。